

あわら市をより豊かに！

2025年10月10日

あわら市議会議員

青柳あつし

市政報告 Vol.018



～ごあいさつ～



皆さまのお力添えにより、このたび二期目の活動をスタートさせることができました。心より感謝申し上げます。

９月補正予算では、小中学校給食費の完全無償化や、子どもの遊び場整備に向けた予算などが可決され、子育て世代を支える取り組みが大きく前進しました。また、令和６年度の決算審査も行われ、市の財政運営の在り方について改めて点検する機会となりました。

一般質問では、多くの市民の皆さまから関心を寄せられている「ごみ袋」について取り上げました。単なる生活必需品としてのごみ袋ではなく、環境への意識やまちづくりの起点として、「一枚のごみ袋から広がる、より豊かなあわら市」を目指して議論を重ねています。

これからも市民の皆さまと一緒になって、市民の声を原点に、一つひとつの政策を確かな形にしていけるよう、全力で取り組んでまいります。どうか引き続きのご支援とご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

みなさんのもとへ歩いて



水道管の漏水。市役所の上下水道課へ連絡したところ、調査・工事を迅速に行っていただきました。

私は一期目からずっと、まず市民のみなさんのもとへ歩いて出向き、直接声を伺うことを大切にしてきました。

良い取り組みをしているところがあれば、場所を問わず出向き、あわら市の未来にどう活かせるかを考えます。そこでの声や学びこそが、机上では見えない課題や可能性を教えてくれます。

「自ら歩いて得たものを必ず市政に反映させる」それが私の変わらぬ信念です。

市民のみなさんと一緒に、安心して暮らせる豊かなあわら市を築いていくために、これからも現場第一主義を貫いてまいります。



今立郡池田町
まち旅から学ぶ



福祉車両の見学

活動報告
Activity Reports


防災教室


消防総合訓練に参加


あわら市災害対策本部図上訓練を実施



森田理紗子さん凱旋ライブ



大学生がつくる音楽と食の祭典







第 22 回あわら市戦没者追悼式に参列


街頭指導


国道 158 号線の土砂崩れと迂回路の現地視察


あわら湯のまち みらいプロジェクト


障害学習


北潟湖でカヌーポロ全国大会開幕! 日本代表も参戦

編集後記

今回の広報誌をつくりながら、改めて「市民のみなさんの声に支えられている」と感じました。日々の活動の中でいただく一言一言が、私にとって大きな力となり、次の取り組みへの原動力になります。

紙面では書ききれないこともありますが、少しでも想いをお伝えできれば幸いです。初心を忘れず、これからも、みなさんと共に歩みを進めてまいります。



車座座談会 会場募集



自治会の役員会や集会の場にお声がけください。地域の課題やご意見を直接伺いにまいります。

９月議会　一般質問の裏側



９月定例会が８月 25 日から 10 月７日までの会期で開催されました。

一般質問の裏側ということで、想い・考え方・反省点・今後をみなさまにお伝えします。なお、全文に関しては私のホームページに原文どおり掲載しています

今回の一般質問は、「ごみ袋」をテーマに、質問をさせていただきました。これをきっかけに、あわら市がより豊かになるための取り組みが始まることを期待しています。



ごみ袋１枚から広がる未来
私がなぜ「ごみ袋」のことを聞いたのか

１枚のごみ袋から広がる、より豊かなあわら市

今回の一般質問で私は「ごみ袋」のことを取り上げました。理由は、市民の方から「ごみ袋の値段が高いから、なんとかしてほしい」という声をたくさんいただいたからです。

ごみ袋は毎日の生活で必ず使います。だから「たかがごみ袋１枚」ではなく、「たった１枚のごみ袋」の影響が、家庭にとっても、街にとっても大きな影響を与えます。

ごみ袋の値段には、ごみ処理費用が含まれています。物価高に伴って、ごみを処理する費用も上がっているので、ごみ袋の値段もすぐに下げることはできませんでした。

でも、もしみんなで分別を工夫してごみを減らすことができれば、処理費用も下がり、袋の価格も下げられる可能性が生まれます。そしてそれは、環境を守ることにつながり、子どもたちにきれいな街を残すことにつながり、さらに企業誘致や観光にも関係し良い影響を与えます。

ごみ袋１枚から広がる未来があります。私はこれからもその姿を描きながら、市民のみなさんと一緒になって、環境に優しく、安心して暮らせるあわら市をつくっていきたいと思います。

「ゴミ袋」について



市政よろず相談室

みなさんのご意見をお聞かせください。

ご意見募集中！



- 一般質問へのご意見
- 子育て支援
- 地域活性化
- 人口減少

メール・FAX は 24 時間受付
mail：atsushi@a-aoyagi.com
FAX：0776-73-5539
TEL：0776-73-0313

青柳篤始事務所　〒919-0633 あわら市花乃杜一丁目1-17　TEL:0776-73-0313　mail:info@a-aoyagi.com

委員会活動報告

総務厚生常任委員会は、あわら市の未来を形づくる場

総務厚生常任委員会は、財政・総務・福祉・市民生活など、暮らしに直結する重要な分野を担当しています。財政や市の財産については将来を見据えた議論が欠かせません。福祉分野では、健康や介護を「いまの支え」と「将来への投資」の両面で進めることが求められます。

子育て支援もまた、時代の変化に合わせて柔軟に形を変えていく必要があります。固定観念にとらわれず、市民サービスのニーズを正しく捉えることが大切です。

私は、この委員会こそが「あわら市の未来を形づくる場」だと感じています。だからこそ、市民のみなさんの声から学び、それを力に変えて、より豊かな未来に向け努力を重ねてまいります。

暮らしの中で感じたことを、どうか率直にお聞かせください。みなさんの声とともに、一歩ずつ積み重ねながら、安心して暮らせるあわら市の未来を築いていきたいと思います。



議会活性化特別委員会の委員長に就任

このたび、議会活性化特別委員会の委員長を務めることになりました。責任の重さを感じると同時に、市民の皆さまと一緒に「より開かれた議会」を築いていきたいという強い思いを持ち、職務を全うする心構えです。

議会活性化の目的は、議会を多くの意見が集まる場にして、より開かれた存在にすることです。私はその第一歩として、市民の皆さまに「意見が伝わった」と実感していただけるようにすることが大切だと考えています。意見が議会まで確実に伝わっているという実感が広がれば、これまで届かなかった新しい意見も議会に届きやすくなるはずです。

委員会には新しい仲間も加わり、活発な議論が始まっています。固定観念にとらわれず、議会をどう元気にしていくか。議員一人ひとりが課題を見つけ、研究し、解決策を形にできる場にしていきたいと思います。

そして何より、言葉だけで終わらせず、結果を形にして示すことが大切です。市民の皆さま自身の「声の力」を皆さまに実感していただけるよう、これからも仲間と力を合わせ、市民の声に耳を傾け議会活性化に取り組んでまいります。

